

天皇ヲ以テ州守ニ任ジ、子孫赤松莊赤穂ニ居ル、因テ赤松氏ト稱ス、源賴朝平氏ヲ滅シ、土肥實  
 平、梶原景時ヲシテ、本州及美作三備ノ守護ヲ兼シム、建久四年、季房ノ曾孫赤松則景、州守ニ任  
 ジ、守護トナリ、白旗城赤穂ニ治ス、建武中興、其玄孫則村勤王ノ功ヲ以テ守護ニ補ス、尋テ事ニ  
 坐シテ罷ラレ、之ヲ新田義貞ニ賜フ、則村遂ニ叛シテ足利尊氏ニ屬ス、義貞西征シ、則村ヲ白旗  
 城ニ圍ミ、克タズシテ歸ル、尊氏則村ヲ以テ守護トナス、子則祐、若狹赤穂城ニ居リ、備前ヲ加封  
 シ、其子義則又美作ヲ加賜シ、提封三州ニ跨カル、嘉吉元年、義則ノ子滿祐將軍義教ヲ弑シ、奔リ  
 テ城山城揖西ニ據ル、將軍義勝、諸將ニ命ジテ之ヲ誅シ、本州ヲ山名持豐ニ賜フ、應仁ノ亂、滿祐  
 ノ從孫政則、細川勝元ニ黨シテ故封ヲ復シ、姫路ニ居ル、尋テ又置鹽飾西ニ城キ、之ニ徙リ、同族  
 別所則治ヲシテ、三木ニ居シ、東境八郡ヲ管シ、小寺豐職ヲシテ姫路ニ戍セシム、永正十七年、  
 政則ノ嗣義村、其臣浦上村宗ニ弑セラレ、封疆日ニ蹙マル、享祿四年、義村ノ子晴政、村宗ヲ殺シ  
 テ故地ヲ復シ、置鹽ニ居ル、子義祐ニ至テ、國勢日ニ衰フ、天正五年、織田信長、豐臣秀吉ヲ本州ニ  
 封ジ、西伐セシム、義祐ノ子則房、款ヲ納レ、小寺政職、備後ニ奔ル、別所長治、獨秀吉ト相抗スル、四  
 年ニシテ亡ブ、秀吉則房ヲ阿波ニ徙シ、全州ヲ併セ、姫路ニ治ス、十三年、木下家定ヲ姫路ニ封ズ  
 關原役畢リ、徳川氏池田輝政ヲ全州ニ封ジ、姫路ニ治ス、元和三年、其孫光政ヲ因幡ニ移シ、本多  
 忠政ヲ姫路ニ治ス、拾五萬石、後、小笠原忠真ヲ明石ニ治ス、拾萬石、後、封ズ、爾後龍野初小笠原長次、赤穂、池  
 田輝興、後、林田建部、小野一柳、山崎池田恒之、後、三日月森長、安志小笠原、三章丹羽ノ八藩ヲ建テ、  
 森長直、後、林田、政長、小野、直次、柳、山崎、本多忠英、後、三日月、後、森長、安志、小笠原、三章、丹羽、羽ノ八藩ヲ建テ、  
 共ニ十藩、王政革新、福本藩ヲ置、鳥取ノ支封、既ニシテ廢シテ、縣トナシ、更ニ合併シテ、姫路縣ヲ  
 置キ、改テ飾磨ト稱ス、

〔先代舊事本紀〕十國造針間國造

志賀高穴穗朝、成稻背入彦命、孫伊許自別命、定賜國造、